



市内どこからでも通える小規模特認校

# えがお

真名子小だより

9月号

平成26年9月16日

発行者 島田 芳行



【5年生が元気にあいさつ運動】

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。思い思いの夏を過ごした子どもたちは、地域でのボランティアやスポーツ等、様々な経験を通して、一回りも二回りも大きく成長したように見え、とてもうれしくなりました。

さて、2学期は一年の中でも一番長く、登校日は78日になります。学年としての基礎づくりに励んだ1学期をベースに、2学期はいよいよ子どもたちが躍動する時です。始業式の講話では、盲目の天才折り紙作家の加瀬三郎さんの話を通して、基礎・基本を身に付けることの

大切さ（「教わる心」）、身に付けたことをもとに自分の考えを発展させていくことの大切さ（「自ら学ぶ心」）、学んだことは自分だけのものにするのではなく、共有して喜びを分かち合うことの大切さ（「教える心」）について話しました。子どもたちが目標をもって意欲的に学び、学んだことを生かして、さらに学力が高められるよう、また各種行事等で自分なりのよさを発揮して活躍できるよう、教職員一同、力を合わせて子どもたちの指導・支援に努めてまいりたいと考えております。保護者と地域の皆様におかれましても引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。



## 2学期の学校経営の重点

子どもたちに、次世代をたくましく生き抜くための「生きる力」を身に付けさせるため、「知（確かな学力）」「徳（豊かな心）」「体（健やかな体）」のバランスの取れた教育を推進しながら、今学期、特に次のことについて重点的に取り組んでいきます。

知



【基礎・基本の定着を図る】

・ドリルや漢字を繰り返し練習



【思考力・表現力を高める】

・的確に自分の考えを伝える



徳



【自覚と責任感を高める】

・児童が主役の楽しい学校



【思いやりの心を育む】

・日本一の仲良し学校目指して



体



【勤労意欲を高める】

・日本一の美しい学校目指して



【健康な体をつくる】

・治療・病気の予防に努める



学校の主役は子どもたちです。一人一人が充実した2学期を過ごせるよう頑張っています！

## 夏休み、真名子小の挑戦！ 一楽しかった夏の思い出



充実した夏休みを過ごして欲しいとの願いから、今年度初めて実施したのが「サマースクール」、「学校に泊まろう」そして「水泳記録会」です。子どもたちには好評で、よい思い出になったようです。「サマースクール」と「学校に泊まろう」の活動の様子を紹介します。

### サマースクール

夏休みの宿題を支援するために、それぞれの分野の専門家を外部講師にお招きし、指導にあたっていただきました。全6回で自由参加でしたが、全校児童の約半数の児童が参加しました。



【書道を学ぶ】



【ポスターや絵画を学ぶ】



【歴史・火おこし体験】

### 学校に泊まろう

P T Aや地域の皆さんが、子どもたちに「夏休み最高の思い出をつくってあげよう」と実行委員会を組織し、「学校に泊まろう」を企画してくださいました。全校児童の約8割が参加し、まさに最高の思い出をつくりました。本当にお世話になり、ありがとうございました。



【カレー作り】



【飯ごう炊さん】



【おいしかったカレー】



【スイカ割り】



【キャンプファイヤー】



【花火】



【体育館で一緒に就寝】



【最後の朝食はおにぎり】

### ～お世話になりました～



8月31日(日)のPTA奉仕作業、9月7日(日)の資源ゴミ回収、さらには9月10日(水)の引き渡し訓練と保護者の皆様、地域の皆様には本当にお世話になりました。特に資源ゴミ回収は悪天候の中での作業にもかかわらず、たくさんの方々にご協力いただき、改めて皆様の心の温かさに頭が下がる思いがしました。

また、2学期に入り、運動会の全校踊り「和楽踊り」のお囃子の練習に「水木はやし保存会」の皆様が指導に来てくださっています。子どもたちが笑顔で生き生きと練習に取り組んでいます。運動会には保護者の皆様も地域の皆様もおいでいただき、6年生の生演奏でぜひ一緒に踊ってください。よろしく願いいたします。

